

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 会長賞

税金が僕の命を助けてくれた

船橋市立三山中学校

第二学年

津 覇 睦 斗

税金のおかげで、今、僕は生きている。僕は小さい頃から体が弱く、4回も救急車で病院へ緊急搬送された経験がある。

初めて緊急搬送されたのは僕が産まれた日、呼吸ができずNICUのある大きな病院へ救急車で搬送され、保育器に入り、さまざまな治療を受け、しばらく入院をしていた。3才の頃、体調が急変し救急車で大きな病院へ緊急搬送。心臓と血液の病気の川崎病になり、免疫グロブリンという治療を受け入院。

小学2年生の頃、事故にあい僕は車の下敷きになった。偶然、自衛隊の方が通りかかり僕を助けてくれた。足の止血をしたり救急車を呼んでくれた。僕は家の近くに習志野駐屯地があり、その自衛隊員の方だった。

最後に救急車に乗ったのは小学6年生の時、熱を出し突然呼吸ができなくなった。救急隊

員の方が酸素マスクをつけてくれたり、優しく対応してくれた。

僕は、ふと思った。

僕は今、14才で4回も救急車にお世話になっているけど、救急車って、値段はいくらするんだろう。

僕は、たくさん病院で入院や病気の治療を受けてきたけど、医療費は高額だったかな。

僕の事を助けてくれた自衛隊の方、そもそも自衛隊は、どこかの会社なのかな。

母に聞いてみた、僕は驚いた。

救急車は税金でまかなわれているので無料。医療費は、日本は子ども医療費助成制度があるおかげで18才までは少ない金額で医療を受けることができるということ。子ども医療費助成制度は税金が財源だということ。

僕を助けてくれた自衛隊の方や、救急救命士の方、いつもお世話になっている学校の先

生方は公務員という、税金があるおかげで日本を守ってくれたり、人を助けてくれたり、僕達を支えてくれる、国や地域、子どもを守ってくれるヒーローだということがわかった。日本に公務員というヒーロー達がいてくれて、安心して暮らしていけることも、税金があるおかげだということがわかった。

そう考えてみると、僕は産まれた日から、税金のおかげで命が助かっていたということがわかった。もしも税金がなかったら、僕の命は助かっていなかったかもしれない。

ニュースを見ると「税金の無駄遣い」という言葉をよく耳にする。たくさん意見があつて人それぞれの思いも一人一人違うことから、全員が納得できる完ぺきな税金の使い方をするのは難しいかもしれない。

しかし僕は、税金に命を救われ今がある。「税金が僕の命を助けてくれた。」

税金を払うことを嫌がる人もいるけど、税金があるからこそ、たくさん人の命が救われているということ、僕の経験を含め、一人でも多くの人に知ってほしい。

ありがとう、税金。僕は今、幸せです。